



資料 1

東京多摩フットボールセンター・南豊ヶ丘フィールド (旧南豊ヶ丘小学校跡地) 土地貸付契約等の契約期間延長等の市民説明会

○本日の主な説明内容

- ・旧南豊ヶ丘小学校跡地について、現在の民間事業者との賃貸借等契約期間を令和8年9月末まで延長
- ・旧南豊ヶ丘小学校跡地について、現在の民間事業者との賃貸借等契約期間満了後の活用方針について



現南豊ヶ丘フィールドの概要

令和7年3月15日 南豊ヶ丘フィールド市民説明会
くらしと文化部スポーツ振興課

旧南豊ヶ丘小学校跡地については、民間事業者への土地賃貸借契約等により人工芝によるサッカー場（東京多摩フットボールセンター南豊ヶ丘フィールド）として設置・運営が行われています。

南豊ヶ丘フィールド貸付契約概要

契約相手先	一社) 東京グリーンスポーツリンク（以下、『GSL』）	土地賃貸借	<ul style="list-style-type: none">賃貸借（年600万円）
契約期間	H27.4.1～R7.3.31（10年間） ⇒ R8.9.30まで延長	建物 使用貸借	<ul style="list-style-type: none">使用貸借（無料）3・4階は防災倉庫として市が無償使用2階はフィルムコミッショングの撮影で使用1階はGSLの事務室、利用者更衣室、シャワールーム、会議室貸出として使用
維持管理費	一部を除き、GSLが負担		





南豊ヶ丘フィールド設置時に掲げた以下3つの目的に応じた成果を挙げており、このような成果を踏まえ今後もスポーツ施設としての活用していくことについて検討を進める。

目的①
スポーツや
健康づくりの場の創出

成果①高い稼働率でスポーツや健康づくりの場として活用されている。

- ・ 休日は稼働率が90%以上、平日も約50～60%の高い稼働率を実現
- ・ ナイター設備で熱中症にも対応したスポーツ活動の場を確保
- ・ 全国優勝したFC多摩の活動場所でもあり、市内クラブの競技力向上に寄与
- ・ 木曜日が地域貢献デーとして市民に無料開放され健康づくりの場となる
- ・ ウォーキングサッカー、卓球、陸上など介護予防に資する事業の実施

目的②
地域の防災機能の強化

成果②災害時における避難所・防災倉庫として活用されている。

- ・ 防災倉庫としての活用され、防災備蓄品の分散配置場所の1つとして、その役割を果たしている。
- ・ 指定避難所として、学校統廃合後も地域住民によって貴重な防災機能を有している。

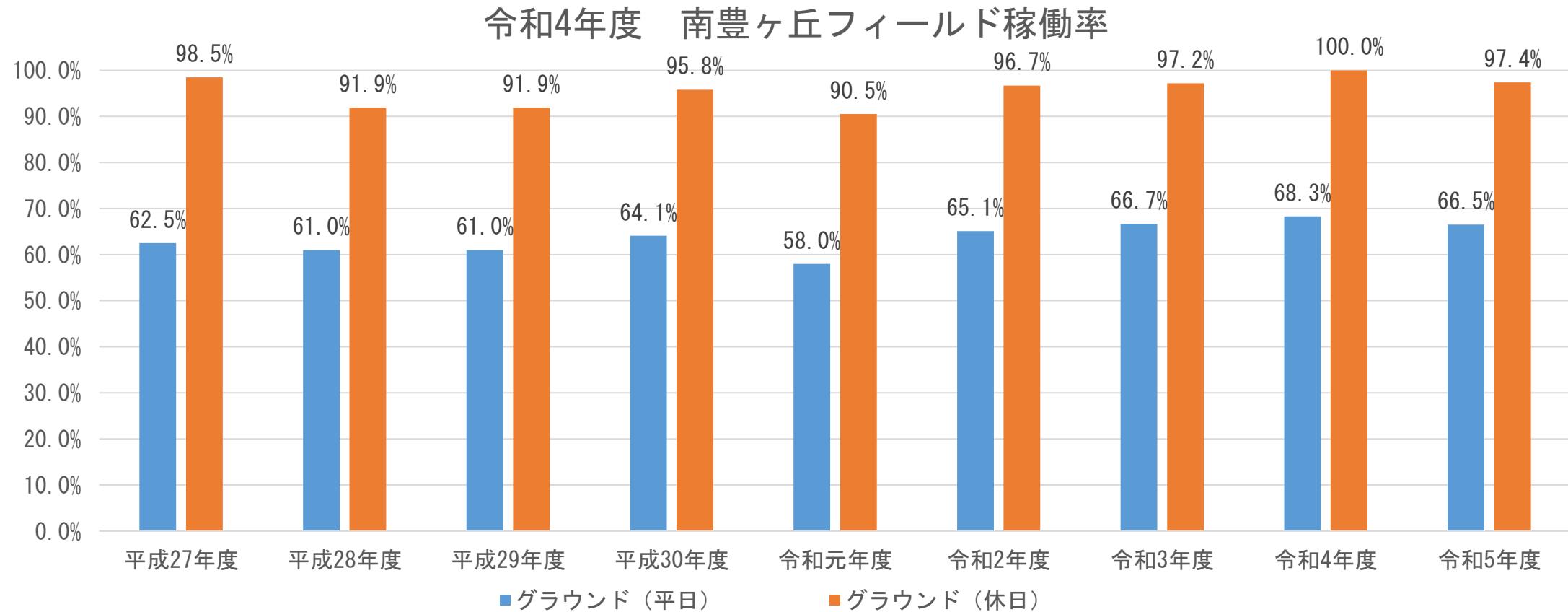
目的③
まちの活性化

成果③スポーツを通じた交流促進が図られている。

- ・ 東京ヴェルディのスクールや東京ヴェルディメニーナ（女子ユース）の練習場として活用
- ・ 多摩市出身のプロサッカー選手と市民との交流事業が市民団体主催で開催されるなど市民交流の場として活用
- ・ 東京都レベルの大会開催会場になるなど、スポーツを通じて広域的に人の集まる場として地域の活性化に寄与

スポーツや健康づくりの場の創出

成果 稼働率は休日 9 割以上、平日 5 割以上と高い稼働率を8年間維持している

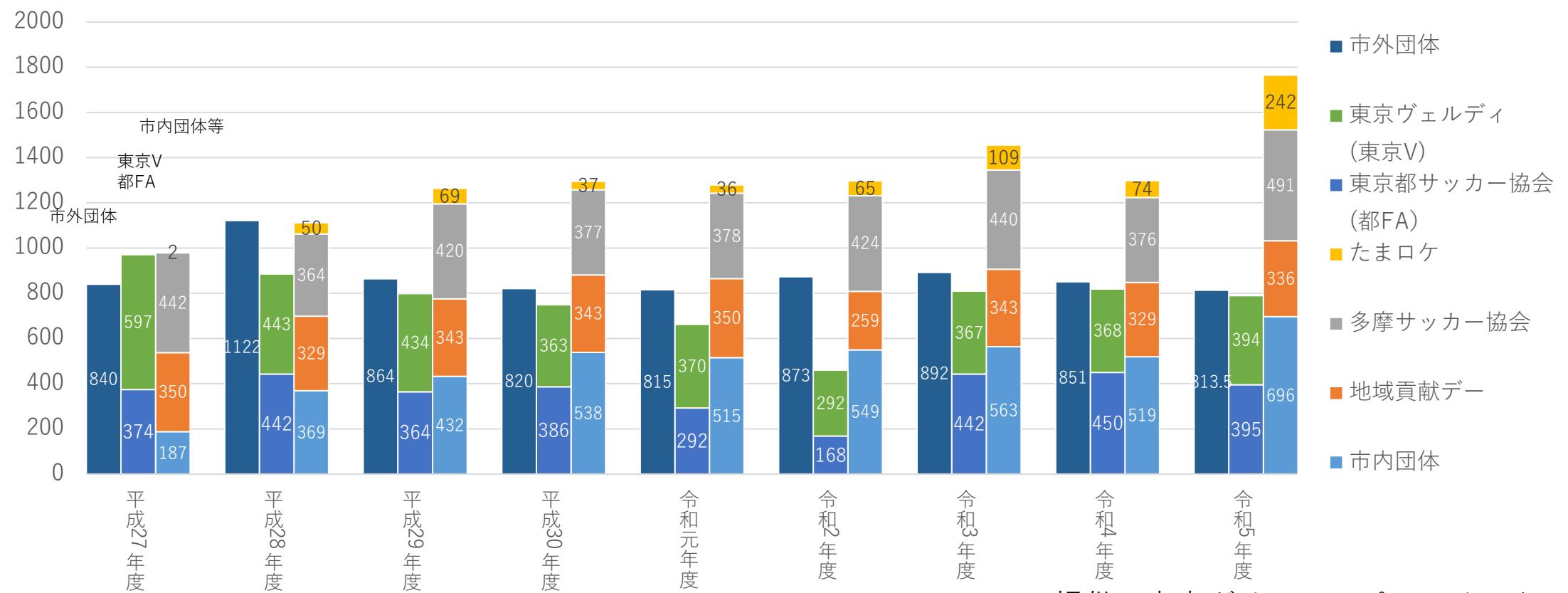


提供：東京グリーンスポーツリンク

スポーツや健康づくりの場の創出

成果 平成27年度と比べ市内団体の利用時間が2.5倍以上に増加し、市内団体等の利用が定着しており、市民のスポーツの場として根付いている。

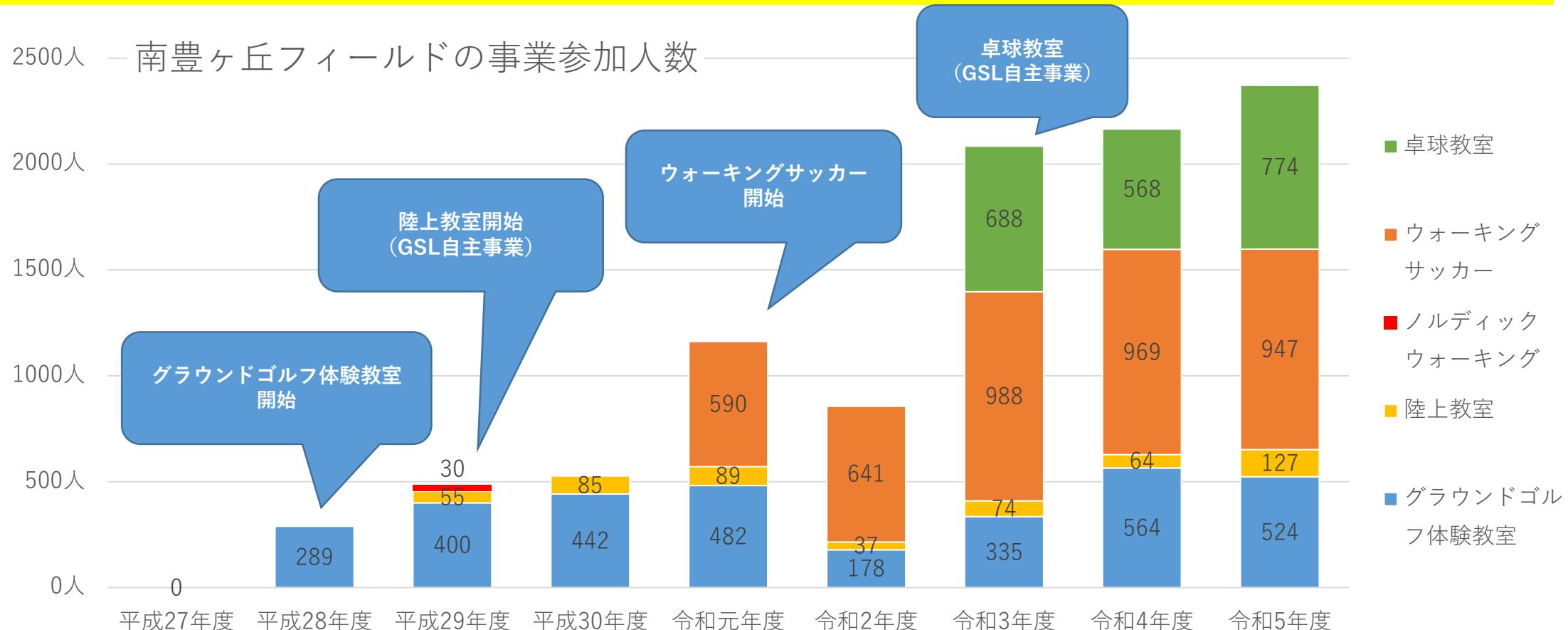
各年度毎のグラウンド利用時間数



提供：東京グリーンスポーツリンク

スポーツや健康づくりの場の創出

成果 毎週木曜日9時～16時までを地域貢献デーとして、市民にグラウンドを無料開放しており、スポーツ推進委員のグラウンドゴルフ体験教室やGSL自主事業として公共性の高い事業を無償・安価で提供できた。





施設の状況

建築	<ul style="list-style-type: none">昇降機内部、最上階天井、廊下などに漏水が発生がみられ防水・外壁の劣化が顕著<u>建物の基本性能である防水や外装材の劣化が進行。</u>
電気	<ul style="list-style-type: none">受変電設備に<u>PCB含有</u>しており、令和9年3月までが法定処分期間となっている。
機械	<ul style="list-style-type: none">給水管・排水管・ガス管の耐用年数を大幅に超過している

校舎・プール等を解体除却する方向で検討を進める。

屋上防水の緩衝シート部亀裂



天井漏水跡





人工芝のフルピッチグラウンドの市民団体への貸出など、近隣市では税を財源に公共が提供しているサービスを多摩市では民間により提供すると同時に市の歳入にも寄与するスキームを今後も継続する想定で、以下の視点での検討を進める。

【①スポーツ振興・健康づくり】

都内では希少な人工芝フルピッチグラウンドとして、引き続き高い稼働率が見込まれることから、人工芝フルピッチグラウンドとしての施設運営は継続する。また、無料スポーツ事業などにより、引き続きスポーツの振興・健康づくりの場として、市民福祉の向上を図る場としての活用を検討する。

【②防災機能】

これまで指定避難所としてきたことを踏まえ、引き続き地域の防災機能を維持を検討する。

【③地域のにぎわいづくり】

民間活力によるスポーツを通じた集客力のある施設整備により、地域のにぎわいづくりを図る。

【④多様なスポーツへの対応】

サッカーを主要な競技としながら、多様なスポーツが出来る場の整備について検討を行う。

【⑤市民交流】

スポーツをする人や地域住民などが利用できる、市民交流の場の創出を検討する。



今後のスケジュール（予定）

令和7年3月15日 南豊ヶ丘フィールド市民説明会
くらしと文化部スポーツ振興課

- 令和7年6月～ 旧校舎等除却設計
- 令和8年7月末ごろ 施設供用停止（時期詳細未定）
- 令和8年9月末 GSLとの土地有償貸付及び建物使用貸借契約の期間満了
- 令和8年10月 旧校舎等除却工事着工
- 令和9年1月～6月頃 次期事業者公募
- 令和9年6月頃 次期事業者決定
- 令和9年6月頃 旧校舎等除却工事完了
- 令和9年7月～令和11年3月 新施設建設関係手続き・工事
- 令和11年4月 リニューアルオープン